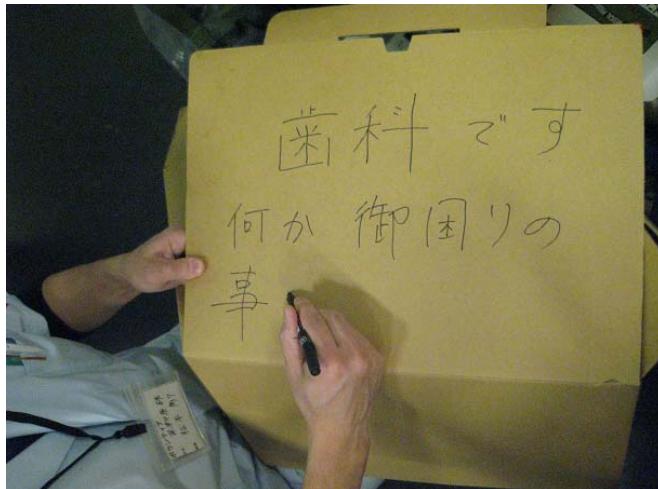


# 生協歯科「スーパー・アリーナ歯科支援活動報告」

2011年3月28日（月）



技工士の小谷野さんは、朝八時半からの現地打合せから参加しました。現地のリーダーも支援者の差配に混乱した様子。地方の方々でとても謙虚で穏やかな人が多かったです。中には「声をかけてくれることがあります」と、こちらが励まされた。ただ疲労感はにじみ出ていた。松本先生が、インレーが外れた子供さん、炎症のあるところに入れ歯が当たつて痛みのある方三人の対応をし、入れ歯安定剤を使ってくださいと渡していました。

生協歯科は二八日、計画停電が予定されていました。停電の時間を使って「さいたまスーパー・アリーナに支援を」と歯ブラシ大人用三百本・子供用三百本、紙コップ二〇〇個などの支援物資とともに、歯科医師一名、歯科衛生士一名、歯科技工士一名の三人が駆けつけました。

現地では、気転を効かして「歯科です。何かお困りのことはありませんか」とダンボールに手書きし場内を回りました。

衛生士小川さんは、時間が少なく応急処置しか出来なかつた。総入れ歯の人にブラッシングや口腔ケアも出来たらよかつたと思う。ちょっと心残りでもありました。



急速参加した松本先生は、「時間が短く本来ならば一日かけて支援しないと回れない。入れ歯があたつて痛みのあつた方の調整をして「痛くなくなつた」と喜ばれた」と感想を話されていました。